

9月

広報

しよわ

平成21年(2009)
No.483

主な内容

- 大河原小学校区の100年をたどる…………… P2
- 中学生総合体育大会 結果 …………… P9
- みんなで予防新型インフルエンザほか …… P10

「今日も楽しく学びます」

今からおよそ100年前、「子どもたちのために教育の場を」と、地域の人たちの手で作られた分校がありました。

「つかい棒学校」と呼ばれ、親しまれましたその分校は昭和35年に独立。大河原小学校として開校しました。

それから50年。大河原小学校では現在、51人の児童が毎日楽しく学んでいます。(写真は授業を受ける4年生)



地域に教育の場を…

大河原小学校区の

100年をたどる



長者久保分教場

大河原小学校は今年4月、昭和35年の開校から50周年を迎えました。

その大河原小学校の礎となる学舎―長者久保分教場―が開校したのは明治41年。今から100年も前のことです。

当時、「子どもたちのために教育の場を」と願った地域の人びとの情熱と努力が実を結び開校した長者久保分教場。

“つつかい棒学校”と呼ばれ、地域の人たちに親しまれた長者久保分教場の100年をたどりました。

歴史をひもとく

昭和22年に学校教育法が施行されるまで、「分校」は「分教場」と呼ばれていました。

歴史をひもとくとき、当時の人びとの苦勞や熱い思いが見えてきます。

どのようにして、長者久保地区に分教場ができたのか？なぜ、つかい棒学校とよばれたのか？

糸之瀬村誌や昭和村分校誌、学校の沿革誌などに残る記録をもとに、長者久保分教場の歴史をたどりましました。

集落の成り立ち

長者久保地区では、豊かなわき水に恵まれていたため、土器が出土するなど大昔から人が住み、集落を形成していた形跡が見られます。また、「上野国勢多郡長者久保村」と記された江戸時代の古文書も残されています。

長者久保村はまた、「井口村」とも呼ばれ、現在でも長者久保地区には井口という地名が残っています。この「井口（＝井戸）」という地名から、当時そこに水くみ場があったことが想像されます。その後明治7年、糸井村に

火番は当時、屋根の材料となる「かや」などを育てるために原野で野焼きを行い、その監視などをしていました。

そして、明治22年には貝野瀬村と糸井村が合併し糸之瀬村が誕生。明治40年ごろになると、中野上地区で12戸、大原地区で11戸が生活していました。

分教場の開校に

奔走した人びと

「子どもたちに教育の場を」と願った人たちはついに行動を起こします。

村に子どもたちの通学の苦難を訴え、分教場を設置することを村にお願いしたので

しかし、あまり良い返事は得られませんでした。

当時、分教場を設置するためには、区域内に家が100戸以上必要で、長者久保やその周辺地区では、わずかに足りなかったのです。

たび重なる協議の結果、村にはいつい負担や迷惑をかけるまいという条件で、ようやく分教場の設置が許可されることとなりました。明治41年

3月19日のことでした。

しかし、校舎の建設費はもちろん、教員の月謝などの運営費も、全てが地元住民の労力と負担となったため、大変な苦勞を強いられることとなりました。

学校沿革誌では、長者久保分教場開校について次のように記されています。

「分校開設希は一応達したるも分校経営の財源は一切地元民の負うところになれるを以て、先達者（石井叶・小田切勘造・武井代・栃原精之助・青木太郎・今井寅吉・高橋竹松・石井久吉・戸部栄

治・吉沢嘉重郎・木暮米吉・木暮仲次郎・星野弥之助・松井鹿造の諸氏）の苦難もまた新たに始まりたり」

そのため地元の人たちは分教場の開校から学校の運営費はもちろん、修繕費や教員の謝礼など、すべての費用を負担することとなり、土地を抵当に入れたり手放したりと、私財を投げ打って学校の負担金を工面しました。

開校から4年、とうとう負担に耐えかねて住民が直談判し、村が分教場の運営費を負担することになったのは明治44年のことです。

分教場の開校に尽力した星野弥之助さん

娘・ふくさんの回顧



星野弥之助さん(分校誌より)

「父は「これからは百姓も学問しなければ時代に取り残される」と常々言っておりました。とりわけ、開墾地の子どものための教育について、日夜心を砕いていました。(分教場の)建設委員の発起人となった父は、今日は陳情、明日は会議と席が温まる暇もありませんでした。家業の農業はこの運動の合間にやるといった有様でした。四月一日の開校式の日、てきぱきと事を運んでいた嬉しそうな父の姿が頭に浮かびます」
(昭和村分校誌より)

手作りの「つつかい棒学校」

さまざまな困難を乗り越え、仮分教場として明治41年に開校した糸之瀬小学校・長者久保分教場。翌42年には新たな校舎を住民の手で建設しました。

「つつかい棒学校」と呼ばれ親しまれた校舎は、昭和17年1月に中野地区に移転するまでの33年間、子どもたちの学舎として、また地域の集会場として、地域住民の文化活動の中心となりました。

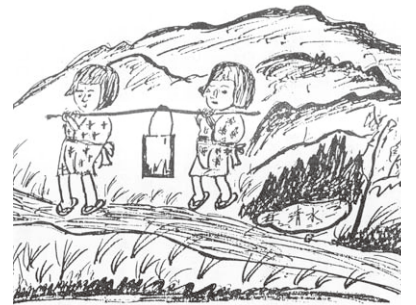
「つつかい棒学校」 ができるまで

開校当初の校舎は木造民家を借り受け、一つの教室で1年生から4年生まで一緒に授業を受けていました。

当時は、分教場で学ぶのは1年生から4年生までで、5・6年生になると糸井の本校に通っていました。

明治42年3月、風害に見舞われ使われなくなっていた養蚕技術伝習所の建材を買い受けて、長者久保の「井口」という地名の場所に新たに分教場を建設しました。この校舎の建設作業には地域の人たちが大勢参加したといえます。

このとき完成した校舎こ



水くみを描いた絵(昭和村分校誌より)

そ、「つつかい棒学校」とよばれた校舎で、建物の四隅をつつかい棒で補強した、地域住民の手作りによる学校でした。

水くみが毎朝の日課

つつかい棒学校では、授業前の水くみが子どもたちの日課となっていました。

2年生から(3年生からの場合もあった)4年生までの子どもたちが毎日、学校からおよそ50メートル離れた水くみ場まで水をくみに行きました。

水は一斗(およそ18ℓ)缶にひもを結わえてつるせるようににした容器「テンコ」を担ぎ棒にとおし、二人一組で担

いで運びました。

校舎は20坪の教室が一部屋で、1年生から4年生まで全員が同じ教室で授業を受けました。席は学年ごとに一列になって、女の子が前の席に座り、男の子が後ろの席に座って授業を受けたといえます。

当時の子どもたちは、かすり模様の着物にわら草履、横カバンや風呂敷に教科書や弁当を包んで学校に通いました。

1年生には石盤と石筆が配布され、2年生からノートと鉛筆で授業を受けました。

学校に持っていく弁当は、主に焼きいもや焼きトウモロコシなどでした。

文化の中心に

大正2年には裁縫科が設置

され、冬になると「裁縫学校」が開催され、子どもたちだけでなく、地域の女性が裁縫を習いました。

当時は店で布を買ってきたり機織りをしたりして、その布を縫って着物にしていました。

そのため、裁縫は欠くことのできないもので、これが近くで習うことができるので当時の人たちは大変喜びました。

また「補修学校」や「青年学校」など、昼間学校に行けない人や若者の学習なども活発に行われました。

学芸会なども催されたといえます。



当時の裁縫学校(昭和村分校誌より)

長者久保分教場の あゆみ(年表)

明治41年	3・19	仮分教場の設置を許可される
明治41年	4・1	長者久保分教場が開校する
明治42年	5・5	糸之瀬尋常小学校赤城分教場と改称
明治42年	3・23	字井口に分教場を移転
明治44年		分教場の負担金に耐えかね村へ嘆願。運営費を村が負担することに
大正2年	4・1	裁縫科が始まる(桑原三郎先生夫人こう先生が指導)
大正12年		関東大震災
昭和10年	4・1	教員が2人となる。(主任竹吉仲治先生、新任倉品寿恵先生)
昭和11年		新たに1教室を増設、2学級となる
昭和16年	4・1	糸之瀬国民学校赤城分教場と改称
昭和17年	12・8	太平洋戦争開戦
昭和17年	1・4	軍演習計画地の危険区域内となつたため分教場を中野に移転
昭和20年	8・15	太平洋戦争終戦
昭和21年		追分・赤谷地区ほか、原野で開拓が始まる
昭和22年	4・28	高原地区に電気が通う
4		学校教育法に基づき六・三・三・四・年制の教育開始
5・3		糸之瀬村立糸之瀬小学校赤城分校と改称
9		日本国憲法が施行される
		カスリン台風により長者久保地区で土砂災害が起こる(8人が被害に)

「つつかい棒学校」の思い出

明治42年から昭和16年まで33年にわたって、子どもたちの成長を見つめてきた「つつかい棒学校」。

「こ」では、実際に「つつかい棒学校」で学んだ4組の方々にも、当時の思い出をたどってもらいました。

高橋八九十さん・マサさん夫妻の思い出



高橋 八九十さん 大河原(昭和6年度 卒業)
マ サさん (昭和11年度 卒業)

「こ」にはお祝いとして鉛筆を2本、「元日」にはミカンを5コもらえました。これはうれしかったです。

昭和3年8月、当時分教場で教えていた先生が亡くなり、糸井の本校から代わる代わる先生が分教場に來ました。秋になると竹吉仲治先生が分教場に赴任してきました。

体格がよかったため、1年生から水くみをしました。水くみ道具はバケツと「テニコ」。テニコは一斗缶(18リットル)に縄をかけたもので容量が多く、いつも最後まで残っていました。

大変な水くみでしたが、報酬として鉛筆が2本もらえました。ほかに「建国記念

くらしいのボールが一つだけ。男の子が使う日と女の子が使う日を交互に決めてボール遊びをしました。よく男の子がボールを独占し、ボールを貸してくれないと先生に言ったことを覚えています。

4年生になると裁縫の時間ができました。先生は竹吉先生の奥さんで、最初は手拭いを使って練習をしました。

学校に持っていった弁当は「ふかしイモ」や「焼いたトウモロコシ」。当時のトウモロコシは固く、あまり味がありませんでした。お弁当は包むものがなく、そのままカバンに入れてもっていきました。弁当を持ってこない子どもには、たまに先生がご飯を炊いてくれていました。(マサさん)

松井勘助さんの思い出

昭和初期、当時の長者久保地区では「炭焼き」や「材木」でお金を稼いでいました。そのころは、沢づたいに80軒近くの家屋がありました。

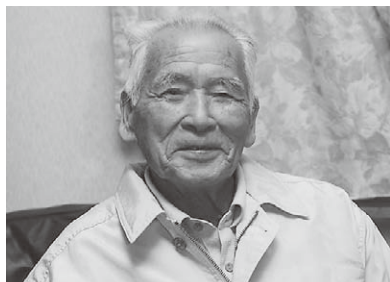
分教場の建設に奔走した星野弥之助さんについては、泊まりがけで村と交渉したと聞いています。

校舎は四隅をつつかい棒で支えていたため、「つつかい棒学校」と呼ばれていました。学校には使用人室があり、立派な学校でした。当時は分教場のあたりが長者久保の集落の中心でした。

4年生で成績が良い人から、先生が学級長を決めました。学級長は特別で他の子どもたちには命令できません。でも、先生には怒られる的でした。

親より先生の方が厳しく、よくシノでたたかれたことを覚えています。

遠足は糸井の本校へ行ったり、山へ行ったりして遊んだりしました。休み時間はよく学校向かいの斜面にある「大石」で遊びました。ほかに藤つるでブランコを作って遊んだりもしました。



松井 勘助さん・長者久保 (昭和9年度 卒業)

昭和23年	12・	付属建物を改造、人教室増す。(1、2年を単式学級とする4学級)
昭和25年	5・25	中野公会堂の一部を借り、一教室増やす。(1年生から4年まで単式4学級となる)
昭和26年	11・9	教員住宅2世帯分を建設(費用は全額地元負担、工費11万円) テレビ放送始まる
昭和28年	3・1	校舎移転にともない、星野末吉氏所有の物置を借り2教室を、中野公会堂に2教室をおき80日間授業を行う
昭和29年	5・20	新校舎完成落成式を行う。(現在の場所)
昭和30年	1・31	六年制の実施を地区全世帯が署名し陳情
昭和31年	11・1	防火用水池兼プール完成
昭和32年	4・9	分校での六年制が実施される
昭和33年	6・18	学校図書館振興法の適用を受ける
昭和33年	1・23	初めてのピアノが学校に到着
昭和33年	2・22	ピアノ開きを行う
昭和33年	5・20	増築校舎の落成式を行う(五教室増築)
昭和34年	11・1	糸之瀬、久呂保両村が合併、昭和村となる
昭和34年	改称	昭和村立東小学校赤城分校と改称
昭和34年	2・26	地域内に電話線が架設される
昭和34年	3・3	校内に電話室を設置
昭和34年	4・1	へき地二級地の指定を受ける
昭和35年	9・9	赤城分校独立推進委員会発足
昭和35年	4・1	昭和村立大河原小学校として独立
昭和35年	5・4	大河原小学校の開校式を行う

星野眞吉さん・まつのさん夫妻の思い出



星野 眞 吉さん・長者久保(昭和12年度 卒業)
まつのさん (昭和14年度 卒業)

学校へはわら草履をはいて通いました。

学校に行くときは水くみ。水くみは3年生からの仕事で、一斗缶(18リットル)に水をくみ二人で担いで1キロの距離を運びました。授業が始まる前に毎日行い、くんできた水は使用人室まへの水がめに入れました。

水くみには2人1組で行きましたが、特に決まった組み合わせはなく、学校に来た順で井戸まで行きました。

授業を教えてくれた竹吉仲治先生は糸井から長者久保まで通っていました。

授業は主に読み書きと体操。体操は草履をぬいで素足で行

いました。

当時、水は大変貴重だったため、素足で授業を行ったあとは水を使わず、草などで足の泥を落としていました。

(眞吉さん)

つっかい棒学校は1年生から4年生まで1教室で学年別に一列に並んで授業を受けていました。

教壇から向かって左側から1年生・2年生・3年生・4年生の順番で並び、席順は女の子が前、男の子が後ろの順だったと思います。

教壇は一段高くなっていて、その後ろに大きな黒板がありました。黒板は年1回、墨を塗りました。

筆記用具は石盤と石筆で、入学のときに横カバンと一緒に親が買ってくれました。

入学式は分教場で行い、おじいさんに手を引かれて「先生にはちゃんとあいさつするんだぞ」と言われたことを覚えています。

冬場には裁縫学校が行われ、学校を出た女性15人くらいが裁縫を習いました。

小学校6年と高等科2年、合わせて8年間休まず学校に通いました。(まつのさん)

つっかい棒学校の道をたどって

石井金治さん(大河原)はつっかい棒学校に続く旧道を通り中学校に通ったといえます。今年2月、石井さんにつっかい棒学校までの道を案内していただきました。



◀つっかい棒学校に通った人たちの思い出の「大石」。今も変わらずその姿をとどめていた。



▶誰も通らなくなった旧道には馬頭観音が今もひっそりとたたずむ。



◀つっかい棒学校の跡地は林となり、今は当時の様子をうかがうことはできなかつた。

星野精三郎さんの思い出

当時は竹吉仲治先生が1年生から4年生すべてを教えていました。糸井出身の竹吉先生は元海軍の軍人さんだったため、音楽の授業はラッパを吹いて歌をうたいました。

1学年だいたい15・16人くらいで、3年生からは裁縫教室があり、男女別々に授業を受けることができました。

通学するときの道具入れは横カバンで、上級生は風呂敷が多かったように思います。靴は短靴にわらや草履をつつこんで履いていました。

初めて学校で書いた文字は「サイト サイト サクラが

サイト」で、筆記用具は石盤にチョークでした。

休み時間になると、よくチャンバラごっこや山遊びをやコマ遊び、そりや竹スキーなどで遊びました。遊び道具は何でも自分たちで作っていました。



星野 精三郎さん・長者久保(昭和15年度卒業)

記憶の中に残る分校

●南小学校

永井分校



▲明治29年(1896)に開校した永井分校は、昭和52年(1977)に閉校するまで、およそ80年にわたって地域の教育の場として親しまれた。

●南小学校

赤城分校



▼昭和28年(1958)、地元の人たちの努力と勤労奉仕で開校した分校。児童数の減少に伴い、複式学級を避けたいと昭和43年(1968)に閉校。その跡地には村立第二保育園が建てられた。

分校から独立校へ

「つつかい棒学校」は昭和17年1月、中野地区の新校舎の移転に伴い、その役目を終えました。

その後、戦中・戦後と激動の時代を経て、長者久保分教場は赤城分校へと改称。

戦時中の疎開や戦後の開拓などで年々児童数が増え、ついに昭和35年、大河原小学校として独立しました。

役目を終えた

つつかい棒学校

太平洋戦争の暗い影が差し始めた昭和16年、現在の追分・赤谷・赤城原・松ノ木平地区の原野およそ700ヘクタールが軍の演習計画地として買上げられました。

長者久保の分教場も危険区域内となったため、中野地区に移転することになりました。

そして、中野地区に瓦屋根の新たな校舎が完成すると、翌昭和17年1月、つつかい棒学校の役目はついに終わりを迎えることとなりました。

児童数の増加と

校舎の移転

戦時中、日に日に激しくな

とうとう教室が追いつかなくなってしまう。

そこで、現在の大河原小学校の位置に校舎を移転することになり、昭和28年10月、校舎移転増築工事が始まりました。

建設作業には地元の人たちが参加し、土手を切り盛りして整地しました。

六年制の実施から

独立校へ

昭和31年には六年制が実施され、ついに一年生から六年生までが分校で学べるようになりました。

この六年制の実施により、地域住民の「分校から独立校へ」という意識が一気に高まりました。

糸之瀬村と久呂保村の合併

により昭和33年、昭和村が誕生。翌34年には分校独立推進協議会が立ち上げられ、村と活発な協議が行われるようになりました。

そして昭和35年4月1日、昭和村立大河原小学校として独立することになりました。

長者久保に仮分教場ができ、51年後のことです。

最後に、昭和村分校誌には次のような回顧録が記されています。

「現在立派な大河原小学校が建てられ、子どもたちが明るく元気に勉強しているところを、苦労を重ね、あの分教場を造った人たちは、きつと喜んでおられると思う」



現在の大河原小学校

貝野瀬分教場



▲明治8年(1875)、貝野瀬小学校として開校。何度か場所を移転し、明治32年(1899)に写真の校舎に移転した。明治41年(1908)に貝野瀬分教場と改称。昭和23年(1948)、糸之瀬村立糸之瀬小学校に統廃合となった。

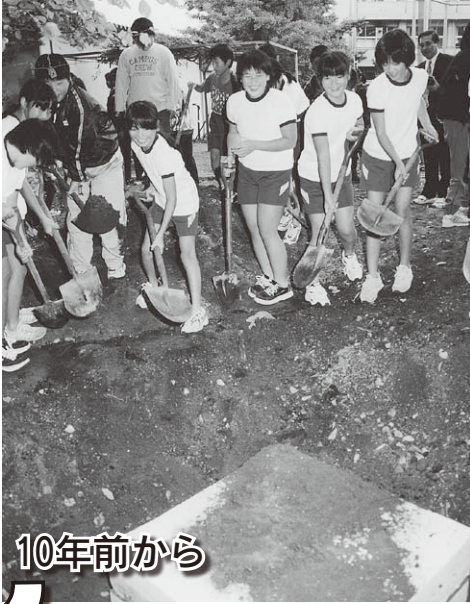
東小学校

生越分校



▼明治8年(1939)、生越村生越小学校として恵光寺で開校。明治16年(1883)に写真の校舎に移転。昭和36年(1961)に昭和村に編入合併し、東小学校生越分校となる。昭和51年(1976)に閉校した。

10年前の自分と再会



10年前から

児童が埋めたタイムカプセル



10年後へ

10年の時を経て掘り起こされたタイムカプセル

今年開校50周年を迎える大河原小学校で8月15日、タイムカプセルの開封式が行われました。
式典には、当時の在校生や保護者らおよそ100人が出席。10年前の自分から送られた手紙や作品を手に、それぞれ昔話に花を咲かせました。

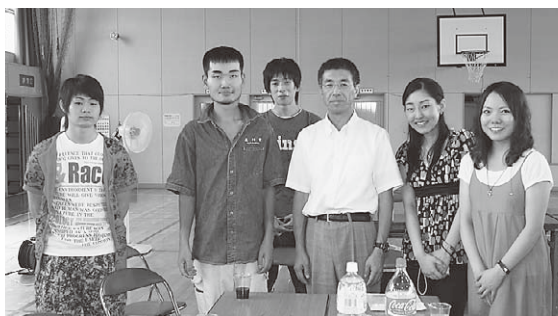
このタイムカプセルは平成11年10月、大河原小学校の開校40周年を記念して、10年後の開校50周年にまたみんまで集まれるようにと企画されました。

当時の在校生とその年の卒業生、合わせて84人が、10年後の自分にあてた手紙やビデオレター、写真やクラス全員で制作した作品などをプラスチック製のタイムカプセルに納め、校舎の隅に埋めました。掘り出されたタイムカプセルは同校の体育館に移され、当時の在校生や教師らが一つ一つポルトを外し開封。10年の時を超えて、懐かしい作品と再会した卒業生から歓声が上がリ、作品を見せ合ったり、

当時の話で盛り上がったりと、楽しく語り合いました。

当時6年生で児童代表として「10年後開封するのが今から楽しみ」とあいさつした後藤導絵さん（21歳）は自分からの手紙を手に、「手紙には農家になるって書いてありましたが、今は県外に住んでおり当時描いていた将来と全然違いますね。でも、手紙を読んでもみて昔も今も私は変わっていないし、今の自分には、とても満足しています。だから当時の自分に会えるとしたら、そのままでもいいよって言ってあげたいです」と笑顔で話していました。

開封式典を企画した開封実



恩師を囲む当時の6年生（一番右が後藤さん）



当時の作品を見て思わず笑顔に

行委員会（吉澤時彦委員長）は、当時のPTA役員ら13人が中心となって設置。年間1、2回程度話し合いを行い、式典の準備をしてきました。

吉澤委員長は「予想を超える人たちが集まり、本当にうれしい。特に当時の担任の先生方がみんな出席してくれた」と顔をほころばせていました。

また、開校40周年当時に在任していた松永吉隆元校長は「今日を迎えられて良かった。当時の児童や保護者、先生方が一堂に会し、互いに思い出を語り合う、まさに願った通りの開封式典となり、うれしく思っています」と笑顔で話していました。

県大会出場の個人・団体を紹介

県中学生総合体育大会が7月29日から8月1日にかけて、県内各地で行われました。ここでは郡大会の激戦を勝ち抜き、県大会に出場した個人や団体を紹介します。

大会結果（敬称略）・・・

- ▼柔道男子〔団体〕 3位、〔個人55kg級〕 1回戦・永井諒、〔同66kg級〕 1回戦・保坂蒼生、〔同73kg級〕 3位・熊谷光紀、〔同81kg級〕 3位・小室寛人、〔同90kg級〕 ベスト8・岡田拓也、〔同90kg超級〕 3位・反町晃太
- ▼柔道女子〔団体〕 ベスト8、〔個人44kg級〕 1回戦・保坂実生、〔同48kg級〕 ベスト8・大竹成美、〔同57kg級〕 2回戦・姚秋霜、〔同63kg級〕 優勝・涌井薫奈、1回戦・石井花苗
- ▼ソフトテニス〔団体〕 2回戦、〔個人ダブルス〕 1回戦・綿貫健太・横坂和樹、8・稲垣裕太・横坂和樹組、1回戦・綿貫健太・松井凌組、瀬下悦弘・竹之内大輝組
- ▼卓球 男子組 2回戦、女子組 2回戦
- ▼陸上〔3年男子100m〕 予選・石井裕大、〔共通男子200m〕 予選・飯塚一希、〔共通男子400m〕 予選・和南城裕也、〔陸上1年女子100m〕 準決勝・飯塚千晴、〔共通女子400mリレー〕 予選・飯塚千晴、角田優衣、綿貫あかり、鈴木美里



◆柔道部 女子



◆柔道部 男子

なお、女子柔道個人63kg級で見事優勝した涌井薫奈さんは、8月8日から10日にかけて茨城県鹿島市で行われた関東大会、そして8月22日から25日にかけて沖縄県で行われた全国大会に出場。また3位に入賞した柔道男子団体も茨城県鹿島市で行われた関東大会に出場しました。



◆陸上競技



◆ソフトテニス部



◆野球部



◆卓球部

みんなですべての予防 新型インフルエンザ



手洗いうがいをしっかりしましょう

8月10日から16日に行われた感染症発生動向調査で、インフルエンザの一定点あたりの報告数が流行開始の目安1・00を上回りました。そのため、インフルエンザ流行シーズンに入ったと考えられます。感染しない、感染させないために以下の対策に注意し感染拡大を防ぎましょう。

全ての人に お願いしたい対策

1. 石鹸を使った手洗いとうがいをしましょう
2. マスクをして咳エチケット（症状がある人は周りの人への感染をマスクで予防）
3. 症状がある場合は自宅で療養し、外出を控えてください

さい

4. 医療機関を受診する場合は、電話をしたうえで、マスクをしてから受診してください

リスクが高い人たちは特に注意が必要です

1. 発症時は早期の受診と早期の治療を心がけましょう

重症化する リスクが高い人

- ① 妊婦、② 乳幼児、③ 高齢者、④ 喘息などの慢性呼吸器疾患のある人、⑤ 糖尿病などの代謝性疾患のある人、⑥ 腎機能障害や免疫機能不全などを有している人

2. 不用意な外出や急ぎでない場合は外出を控えましょう
3. インフルエンザのような症状がある人が周囲にいる場合には、マスクで感染予防をしましょう

- 詳しくは、保健福祉課 ☎ 24-5111 (内線26) まで。

不動産を公売します

村税の滞納処分として差し押さえた不動産を、沼田市と合同で入札により公売(売却)します

- 日時 平成21年11月25日(水) 午後1時～
- 場所 利根沼田県民局 5階 501会議室
- 注意事項

- ・入札には原則としてどなたでも参加できますが、農地が含まれる物件は農業委員会から交付される「買受適格証明書」が必要です。
- ※「買受適格証明書」のお問い合わせは農業委員会事務局(産業課内) ☎24-5111 (内線23) まで。
- ・事情により公売を中止することがありますので、入札に参加する際には事前にお問い合わせください。

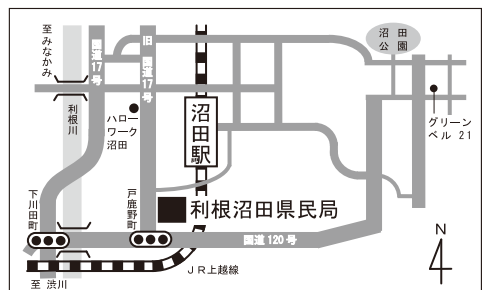
※詳細については、昭和村役場税務課または沼田市役所にお問い合わせいただくか、ホームページでご確認ください。

◎昭和村ホームページ <http://www.vill.showa.gunma.jp/>

◎沼田市ホームページ <http://www.ctiy.numata.gunma.jp/>

■問い合わせ

昭和村役場税務課 ☎24-5111 (内線20)、または沼田市役所税務課 ☎23-2111 (内線3150)



会場案内図

第12回

昭和の秋まつり

10月4日(日)AM10:00~PM4:00
村総合福祉センター駐車場ほか

福祉 まつり 総合福祉センター
(社会福祉協議会) 昭和の湯

11:00~
昭和中プラスバンド演奏
13:30~
江戸芸かっぽれ
14:00~
フラダンス
福祉バザー

入館無料
協力費200円



BEY-BLADE

認定 集え！ 強者ブレイダーにちふ！

ベイチャレンジャー大会
BEY-CHALLENGE TOURNAMENT

○受付開始 10:00~
(※先着96人)
※入賞者には景品を贈呈!!
キミの参加を
まってるぜ!!

5,000人分のこんにやく大鍋をはじめ、侍戦隊シンケンジャーショー、タカラトミーのゲーム大会など盛りだくさんの内容。

毎年恒例、中華街の本格中華まんじゅうや中華メンのほか、昭和村の秋の味覚をたっぷり満喫できます。ぜひ、みなさんお出かけください。

- 9:30~ 開会セレモニー
- 10:00~ 昭和中プラスバンド演奏
- 10:30~ フォークダンス
- 10:50~ 侍戦隊シンケンジャーショー
- 11:30~ 投げ餅
- 11:50~ 生越太鼓
- 12:10~ 空手型披露
- 12:40~ 江戸芸かっぽれ
- 13:10~ フラダンス
- 13:40~ 侍戦隊シンケンジャーショー
- 14:20~ 投げ餅
- 14:40~ コーラス・アンダンテ
- 15:10~ お楽しみ大抽選会

協賛団体出展

体験広場コーナー

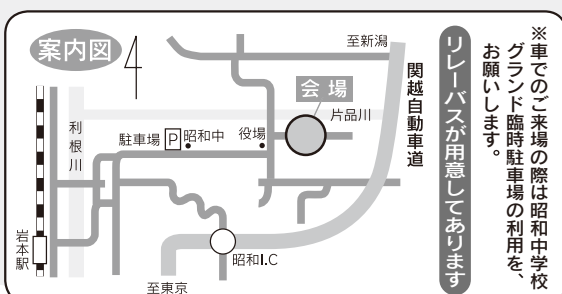
- 製品紹介・コピーサービス(キャノン電子ビジネスシステムズ)
- クラフト体験(赤城林間学園)
- 屋台・写真パウチ(味の素ファインテクノ、藤森工業、佐藤運送)
- 木工品バザー(利根沼田森林組合)
- ちびっ子商店街
- ジャンボカボチャの展示
- 地デジ説明

食とイベントコーナー

- こんにやく大鍋(5,000人分)
- 横浜ミニ中華街
- 新鮮野菜・農産物加工品の販売
- 焼きトウモロコシ・焼きイモ、手打ちそばの販売
- 地ビールの販売
- 餅つき、バザー

屋内運動場コーナー

- ベイチャレンジトーナメント大会・チャレンジコーナー(チョロQ・ベイブレード)・フアフアランド・アーケードゲーム・玩具の蔵出し販売など



※村内の方は路線バスをご利用ください
※指定された駐車場以外への駐車はご遠慮ください

第45回衆議院議員総選挙が行われる

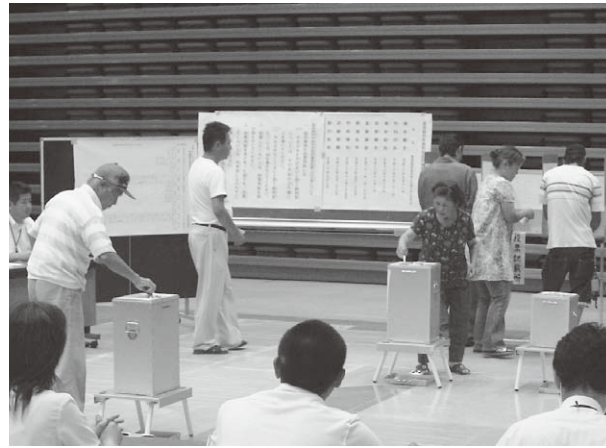
第45回衆議院議員総選挙が8月30日、村内8か所の投票所で行われ即日開票されました。

今回行われた選挙は、小選挙区(群馬第1区)と比例代表選挙(北関東区)で、投票は午前7時から、開票は午後8時から役場会議室で行われました。

昭和村の当日有権者数6322人で、投票者数は4601人。小選挙区での投票率は72.73%で平成17年9月に行われた同選挙の投票率を5.34%上回りました。また同日、第21回最高裁判所裁判官国民審査も行われました。

小選挙区(群馬1区)			単位:票
山田 晶	無所属		73
たきざき明彦	無所属		25
酒井 宏明	日本共産党		224
宮崎タケシ	民主党		1,470
尾身 幸次	自由民主党		2,696
白紙などの無効票			113

比例代表区(北関東区)			単位:票
公明党	444	自由民主党	1,957
国民新党	136	幸福実現党	29
日本共産党	307	社会民主党	120
みんなの党	136	民主党	1,324
新党日本	20	白紙などの無効票	126



一票を投じる有権者の皆さん(第5投票所)

書道展で星野優香ちゃんが金賞を受賞

日本書道協会の第32回総合書道展と第18回児童生徒書道展が8月13日から18日にかけて、東京都美術館(東京・上野)で行われ、本村・長者久保地区の星野優香ちゃん(6歳)が幼年の部で見事金賞に輝きました。

「先生が優しく、教室はとっても楽しい」とは、かむ優香ちゃんは、毎週土曜日の書道教室が大好きです。

お母さんの趙麗萍さんは「最初はあまりおもしろくなさそうだったけど、毛筆での練習になったとたんに通うのが楽しみになったみたい」と教室での様子を振

り返ります。

優香ちゃんは家での書き方の練習を欠かしません。毎朝1ページ、鉛筆で書き方の練習をしています。

現在、毛筆で幼年5段、硬筆で幼年4級(日本書道協会認定)という腕前の優香ちゃん。書道教室で応募している競書にも、たびたび入選し、テキストに作品や名前が載ることもあるそうです。

教室に通い始めておよそ1年、「入選すると思わなかったのでびっくり」と優香ちゃん。「これからも続けていきたい」と笑顔で話していました。



賞状を手にする星野優香ちゃんとお母さんの趙麗萍さん

熱戦!! 還暦野球

VS 少年野球

村体育協会野球部(竹之内直樹部長)による交流野球教室が8月20日、総合グランド野球場で行われました。

この教室は昭和還暦野球クラブと村内の少年野球チームに所属する6年生を対象に行われ、野球を通じて積極的な健康づくりと相互の親睦を図ることを目的に交流試合が行われました。

試合は白熱した展開となり、2対2の引き分に。楽しい時間はあっという間にすぎ、夏の良い思い出となりました。



いざプレイボール!!



賞状とメダルを手に喜びの表情を見せる澤浦えくぼさん

澤浦えくぼさん2年連続の最優秀賞

第31回「少年の主張」利根沼田地区大会が8月27日、川場村文化会館で行われ、昭和中学校二年生の澤浦えくぼさんが昨年に続き、2年連続の最優秀賞に輝きました。

今回澤浦さんが発表の題材に取り上げたのは、「仕事」。

「会社の手伝いをおして、両親の頑張っている姿をまのあたりにし、仕事について発表しようと思った」と澤浦さん。

「仕事とは」と題し、自身のお父さんが経営する会社のことや仕事を取り巻く現在の社会情勢、手伝いの体験を通じて感じた「働く」ことへの思いを、堂々と発表し

ました。

2年連続で地区大会の最優秀賞を受賞するのは村内では、初の快挙。利根沼田地区では2人目となります。

昨年に続き利根沼田代表として県大会に出場することとなった澤浦さんは「前回の県大会、今回の地区大会の反省を踏まえて、今は練習あるのみです。プレッシャーをプラスに変えて頑張ります」と県大会の意気込みを語っていました。

なお、少年の主張群馬県大会は9月26日土曜日、県公社総合ビルで行われます。

作物の栽培通じ食べ物の大切さ体験

大河原小学校では8月28日、「教育ファーム」を実施。全校児童51人が隣接する畑で小松菜の種まきやレタスのマルチ張り・苗植えを行いました。

「教育ファーム」は、作物を育て食べるという一貫した機会を提供し、作物を作る苦労や喜び、食べ物の大切さを体験により知ることを目的にした農林水産省が推進する取り組み。今年度は全国で118か所、県内では本村のほか1か所で実施しています。

この日農作業を指導したのは、同校PTAで農業を営む土澤研一さん(大河原)と星野好行さん(追分)の二人。



小松菜の種上手にまけたよ



以外と難しかったくわの使い方

また、レタスの苗200本をJA利根沼田が無償で提供。児童は星野さんらの説明を聞きながら、農作業に汗を流しました。



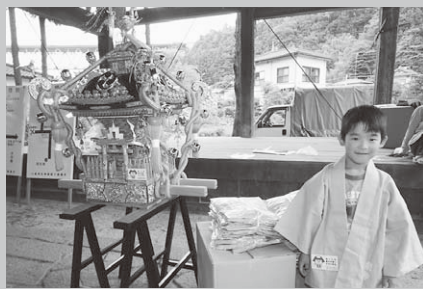
苗植えの説明を受けレタスの苗植えにチャレンジ(5・6年生)

コミュニティ事業で子どもみこしと法被購入

糸井地区では、子どもみこしと子ども用の法被を、コミュニティ助成事業で購入しました。

この事業は、宝くじの普及と広報を目的に、宝くじの収益を財源として、(財)自治総合センターが地域の住民組織に助成しているものです。

購入したみこしは7月26日、毎年行われる糸井地区の夏祭りでも早速披露され、大人みこしに交じって、そろいの法被をまとった子どもたちが元気に担ぎまわりました。



コミュニティ事業で購入した子どもみこしと法被

今月のイチオシ



誘拐児

翔田 寛(著)
講談社

終戦翌年の誘拐事件。身代金受け渡し場所、闇市。犯人確保に失敗。そして十五年後、事件がふたたび動き出す。人間の非情と情愛を見つめる魂の物語。第54回江戸川乱歩賞受賞作。



DDD 1

奈須 きのこ(著)
講談社



春さんのスケッチブック

依田逸夫(作)/藤本四郎(絵)
汐文社



シロナガスクジラより大きいものっているの?

R.E. ウェルズ(著)/せな あいこ(翻訳)
評論社



夢の終わりとそのつづき

樋口 有介(著)
東京創元社

公民館図書室利用時間

月曜日・金曜日 午前8時30分～午後6時

村公民館図書室の本を紹介します。このほかにも、たくさん楽しい本が皆さんを待っていますので、ぜひご利用ください。



交 流 ひろば

新婚さん、金婚を迎えたご夫妻の登場者を募集しています。自薦・他薦は問いません。皆さんどしどしご応募ください。【問い合わせ】役場企画課 広報統計係 ☎24-5111 (内線32)

二人三脚で



「二人でお茶飲めれば幸せ」

「まさか50年、二人健康で過ごせるとは思わなかった」という堤正春さん富美子さんご夫妻。

こんにやく栽培を中心に、大小麦などの穀物の栽培、養蚕をしてきたお二人。「真面目に仕事をすればちゃんと見返りがあった。だから、どんなに辛くても頑張れた」と富美子さんは言います。

現在お二人は農業を引退。正春さんは「畑仕事」を趣味として、自宅で食べる野菜などを栽培しています。

「畑仕事は体も動かすし、今日はどうしよう、明日はどうしよう、頭も動かすから、体と頭の健康にいい」と笑う正春さん。富美子さんはそんな正春

さんと決まった時間に飲むお茶が楽しみで、「まずは朝起きて二人でお茶が飲めれば最高」と言います。

お二人の円満の秘けつは「毎日の討論会」。「討論会は健康のパロメーター」と富美子さん。正春さんは「お互いが対等に健康だからこそ言い合える」と言います。

今後は「人生は積み重ね。これまで健康でこられたのだから、自信を持って今まで通り過ごしたい」と正春さん。富美子さんは「これからも毎日、二人でお茶が飲めれば本当に幸せ」とほほ笑んでいます。二人のすてきな



つづみ 堤

まさ 正 春さん (79歳)

み 富美子さん (75歳)

・入原上

(昭和34年4月27日入籍)

みんなの オアシス

お手紙をいただきました

現在も使っています。

日頃大変お世話様になります。

毎月広報の来るのを楽しみにしております。

〜私の体験〜

携帯デジワが欲しくて息子に頼んで買って頂き（H19・4のこと）簡単デジワで、受けて話せるだけでメールも出来ません。

嬉しくて大切に使っていましたら、1か月後に洗濯機で40分も洗ってしまい、洗濯物を干そうと思ったら電話を見て、ビックリ。どうしよう？

云えば怒られるし、買ってとは云えないし…

日陰で4〜5時間つるしておき、そして押したらプー、プー、と鳴るので、友達のところへデジワしたら通じ、本当によかったと胸をなでおろしました。

情報を寄せて

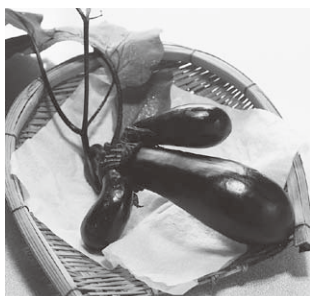
いただきました

家庭菜園で、珍しい形のナスがありました。

大きなナスの両脇に寄り添うように小さなナスが生えた、まるで仲よし親子のような形。

普通の苗を普通に育てただけなのに…。驚きつつも、なんだか愛らしく食べるのがもったいないです。

（Y・S 女性）



仲よし親子ナス



秋のみのもりです
（松ノ木平）



食べ歩き

僕は一人暮らしをしていたときによく食べ歩きをしたのですが、その中で印象的だった料理について書こうと思います。

まず吉祥寺にある「ぶぶか」と言うラーメン屋で食べた油そばです。油そばとは茹でた麺をラード、醤油などの油分の多いたれにからめたつゆ無しラーメンです。これはこつりしてるのですが、トッピングでネギやチャーシューなどを混ぜると食べやすくなり、とてもすばらしい味になりました。

ちなみに「ぶぶか」の油そばはカップラーメンで発売されていてどこでも買えるのでぜひためしてみてください。食べ歩きをして美味しい物を食べた時は幸せだし、店によって雰囲気も全然違うので楽しめたいし、豆知識になっていい経験が出来たと思います。

なにより友達と一緒に食べ回ってたから楽しく思えたのだと思います。

◇ 今回の登壇者は、石井 太作さん（23歳・南内出）です。



いちかわ
市川 亮さん
（22歳・赤城原第二）

はっらっ
トーク

さわやかな風の中…



ターゲットバードゴルフを楽しむ参加者

村ターゲットバードゴルフ協会では8月8日、ターゲットバードゴルフ大会を総合運動公園内のターゲットバードゴルフ場で開催しました。

25人が参加した大会では、木々を吹き抜けるさわやかな風のなか、参加者は、自然に囲まれたコースでのプレーを楽しみました。

商工会が奉仕作業

商工会青年部(川端政史部長)では8月2日、昭和中グラウンドの樹木の枝打ちなど、ボランティア活動を実施しました。

作業はおよそ5時間にわたって行われ、同青年部員18人が枝打ちや照明器具の周りの樹木の伐採、下草刈りに汗を流しました。

また、商工会女性部(松井みよし部長)では7月11日、部員13人が参加して「元気の家」の清掃と周辺のゴミ拾いを行いました。

このボランティア作業は、平成17年から毎年実施し、今年で5回目。同部の皆さんはおよそ1時間半にわたって作業に汗を流しました。



昭和中グラウンドの枝打ちを行う青年部のみなさん



元気の家の清掃作業を行う女性部のみなさん

合併記念して第1回囲碁大会



16人の参加者が熱戦を繰り広げた第1回囲碁大会

昭和村囲碁会(角田勝美会長)では8月30日、「昭和村囲碁会設立記念大会」を公民館和室で開催しました。

この大会は、今年3月に村内の囲碁会「昭和東囲碁会」と「南地区囲碁クラブ」が合併して、新たに昭和村囲碁会が誕生したことを記念して開催。同会のメンバーら16人が参加し、盤上の対局を楽しみました。

主な大会結果は次のとおり。(敬称略)▶**1組 優勝:** 廣田将(森下上)、**準優勝:** 小野一男(宿)、**第三位:** 眞下寛治(椋久保南部)、▶**2組 優勝:** 新木邦夫(椋久保南部)、**準優勝:** 林宏充(池原)、**第三位:** 町田清二(松ノ木平第二)、▶**3組 優勝:** 倉澤邦夫(根岸)、**準優勝:** 金井泉重(椋久保北部)、**第三位:** 青木一雄(森下中)

和太鼓の演奏にチャレンジ

しょうわ子ども教室では8月2日、「和太鼓体験教室」を公民館多目的ホールで開催しました。

講師に生越太鼓のメンバーを迎え、子どもたちは和太鼓の演奏にチャレンジ。およそ1時間半にわたって指導を受けながら練習しました。

その後、子どもたちだけで和太鼓を演奏し、練習の成果を披露。

終わりに生越太鼓のメンバーが「からっ風」を披露。和太鼓の迫力ある音に、子どもたちは歓声を上げていました。



生越太鼓のメンバーに教わりながら和太鼓を体験

PICK UP Sports & Topics

スポーツ&トピックス

園児を親水公園にご招待

赤城西麓土地改良区では8月10日から21日にかけて、第一・第二・子育ての3保育園の年長組の園児たちを沼田市利根町にある同改良区調整池となりの親水公園に招待しました。

これは同改良区が、園児たちに農業用水に対して親しみを持ってもらおうと平成15年から実施しているもので、8月12日には子育て保育園の園児23人を親水公園にご招待。

夏の日差しの下、とれたてトマトや焼きトウモロコシが振る舞われ、園児たちは親水公園での水遊びを楽しみました。



水遊びを楽しむ子どもたち（子育て保育園）

熱戦!! 関東サッカー大会



村内各地で熱戦が繰り広げられた関東大会

関東サッカー協会主催の第33回少年サッカー大会が8月22・23日の両日開催され、関東近郊の1都7県から24チームが集い、村総合運動公園や昭和の森J-Wingsで熱戦を繰り広げました。

この大会は、各都・県大会で上位の成績を取めたチームが参加する大会で、昨年からはFC昭和藤井吉治監督らが中心となって大会誘致活動を進めてきました。

結果、自然豊かでスポーツ施設が充実していることが評価され、県では8年ぶりとなる大会を村で開催することとなりました。

じゃりんこ会がゴミ拾い

田岸・大堀地区の若者の集まり「じゃりんこ会」（代表横坂和佳さん）では8月23日、同会のメンバー13人が、地域周辺の県道や村道のゴミ拾いを実施しました。

作業は真夏の日差しを避け午後4時から行われ、同会のみなさんがおよそ2時間、ゴミ拾いに汗を流しました。

じゃりんこ会では清掃活動やゴミ拾いなどを中心にボランティア活動をしており、この道路のゴミ拾いは平成17年から毎年実施しています。

じゃりんこ会の皆さんありがとうございました。



20袋ものゴミを拾った



ゴミ拾いを行ったじゃりんこ会のメンバー

夏の終わりにドジョウすくい



上手にドジョウがすくえるかな？

第一保育園では8月30日、園内のプールでドジョウすくいを行いました。

このドジョウすくい、第一保育園ではプールじまいに行われる恒例の行事で、プールに放されたドジョウを園児たちが捕まえます。

園児たちは歓声を上げながら、ドジョウを素手で捕まえたり、水泳帽を使ってすくい上げたりして、今年最後のプール遊びを楽しんでいました。

バスケットボールのサマーキャンプ



練習に汗を流す子どもたち

横浜市体育協会・横浜市文化体育館主催による「バスケットボールサマーキャンプin赤城2009」が8月4日から7日の4日間、村社会体育館で開催されました。

横浜市や東京近郊に在住する小中学生を対象に行われた同キャンプでは、昭和中学校バスケットボール部の部員たちが参加。

同キャンプのヘッドコーチで、村ふるさと大使でもある大原輝隆さんは「昭和村は環境がよく、今後も交流を続けたい。そして世界に通用する選手を育てていきたい」と話していました。

また、同じく村ふるさと大使でバスケットボール元日本代表の谷口正朋さん、斎藤文夫さんもゲストコーチとして参加しました。

小さな旅で昭和村を味わう

村ではJR高崎支社・利根沼田県民局と連携したバスツアー「JR小さな旅・利根川上流高原の旅」を8月29日に開催しました。

ツアーには、県内や関東近郊から、定員40人をはるかに上回る応募があり、抽選により選ばれた人達がツアーに参加。

ワイナリー見学やレタスの収穫体験を行ったほか、旬菜館での買い物やリンゴ・ブドウのプレゼントなど、「農」をテーマに村内をぐるりと一周。昭和村の味覚を楽しみました。



とれたてのブドウを味わう参加者

一足早い秋の味覚を満喫

赤城高原農業観光協会(後藤忠彦会長)では9月6日、村内リンゴ園やブドウ園の開園に合わせ「りんご・ぶどうあんびん大福村」を滝寺りんご団地で開催し、県内外からお客さんが訪れました。

同観光協会では、季節の果実が旬を迎える時期に合わせて「あんびん大福村」を開催し、村の果実や農産物をPRしています。

天候に恵まれたこの日は、りんごのサンサや巨峰などが振る舞われたほか、つきたてのお餅で「あんびん」にりんごやぶどうを包み、来場者は一足早い昭和村の秋の味覚を楽しみました。



あんびんづくりに挑戦



元気いっぱい練習歩いた子どもみこし



会場を盛り上げた八木節

高原の納涼祭は今年も大盛況

赤城原青年団(鈴木繁行団長)が主催する、納涼祭が8月20・21日の両日、赤城原区民館で開催されました。

この納涼祭は、地元の人たちで組織する「原栄会」や森下青年団の協力を得て平成15年から毎年実施し、今年で7回目を迎えます。

会場となった赤城原区民館には大きなやぐらが立ち、2基の子どもみこしが「わっしょい! わっしょい!」と元気に練り歩いたほか、青年団員や参加者たちが盆踊りや八木節を披露。

このほか、会場近くの第二保育園でお泊まり保育を実施していた年長組の園児たちが飛び入り参加するなど、大勢の人が集まり大盛況となりました。

納涼祭を主催した赤城原青年団長の鈴木繁行さん(赤城原第二)は、「みなさんのおかげで今年も盛大に納涼祭を開催できました。これからもこの納涼祭をとおして地域を盛り上げていければ」と話していました。

保育園で楽しい夜

第一・第二の両保育園では8月21日、お泊まり保育を実施しました。

第二保育園では、流しそうめんを楽しんだほか、PTA役員によるバーベキューが行われました。

流しそうめんの台は、園児たちのためにと茂木重雄さん(中宿)が作ったもので、流れてくるそうめん子どもたちは「たくさんとれた!」「おいしい!」と大喜び。

おなかいっぱいになった後、赤城原納涼祭に参加したほか、花火やレクリエーション、ゲームなど、夏の終わりの楽しい夜を保育園で過ごしました。



流しそうめんを楽しむ園児(第二保育園)

完成した作品に大満足



自慢の作品を前にパシャリ!!

しょうわ子ども教室では8月3日、「夏休み木工体験教室」を多目的屋内運動場で開催しました。

教室にはおよそ30人の親子が参加。真下美貴夫さん(森下中)ほか村の大工さん4人が、工作の指導や手伝いにあたりました。

子どもたちは、慣れない手つきながらもイスや本棚、テーブルなど、思い思いの作品を作りました。

教室で使用した材料や作業道具は、指導者の皆さんが無償で提供。

作品が完成すると子どもたちは出来栄えに大満足。「うまくできた」「このイス、座り心地がすごくいい」と作った作品の感想を話していました。



無料法律相談会を実施

総務課 内線13

群馬弁護士会による、一斉無料法律相談を実施します。

群馬県弁護士会所属の弁護士が、さまざまな法的トラブルについて、皆さんの相談にお応えします。

相談は無料、秘密は厳守します。

なお、相談には予約が必要です。

ひとりで悩まず、ぜひ相談してください。

■日時 10月9日(金)午後1時～午後4時

■場所 昭和村役場 第2・3会議室

■予約・問い合わせ 総務課

庶務係 内線13・14

新築・増築・減失の際には税務課にご連絡を

税務課 内線29

建物(家屋)には、固定資産税が課税されます。

建物を新築・増改築した時や、取り壊した時、用途変更をした時は、忘れずに税務課までご連絡ください。

該当するお宅には後日、職員がお伺いし、確認させていただきます。

なお、家屋調査の回覧を、各区長さんを通じて発送しましたので、記入にご協力をお願いいたします。

詳しくは、税務課までお問い合わせください。

新しくなります

国民健康保険の保険証

保健福祉課 内線27

国民健康保険の保険証が10月1日から新しくなります。

新しい保険証は、9月下旬に配付されますので、10月1日以降は新しい保険証を使用してください。

保険証が交付されましたら、

まず記載内容の確認をしましょう。もし、記載内容に誤りがありましたら、保健福祉課保険係までお申し出ください。

保険証は国民健康保険に加入している証明書です。紛失したり破れたりしないよう、大切に取り扱いましょう。

また、保険資格の変更がある場合は、14日以内に届け出ましょう。

詳しくは、役場保健福祉課までお問い合わせください。

10月7日(水)に

行政相談所を開設

総務課 内線14

10月19日(月)から25日(日)までの一週間は、行政相談週間です。

村では、これにさきがけて、行政相談所を開設します。

行政相談は、国道・国税・登記など国の業務、国民年金・生活保護などについての苦情や意見を受けます。

相談を受ける行政相談員は総務大臣から委嘱された有識者です。お気軽にご相談ください。相談は無料、秘密は厳守します。

■開設日 10月7日(水)

新しくなりました！ 商工会の商品券

昭和村商工会商品券は、昭和村商工会が発行する商品券です。

村内にある商店や飲食店など、協賛店で使用することができます。

この昭和村商工会商品券が、9月からデザインを一新し、新しくなりました。

なお、商品券の有効期限は、購入した日から6か月間となります。

慶弔のお返しに！ 各種大会の賞品や記念品として！ お気軽にご利用ください。

■価格 1枚500円

■有効期限 購入した日より6か月間

■協賛店舗 村内食料品店や飲食店、コンビニエンスストアなど(※詳しくは昭和村商工会にお問い合わせください)



新しくなった昭和村商工会の商品券

■その他

- ・のし紙とその印刷代、封筒代・・・無料
- ・1組1万円以上ご購入の場合・・・箱代無料
- ※ただし、1万円未満で箱入りをご希望の場合には、1箱100円になります

■問い合わせ 昭和村商工会 ☎23-2918

クイズ キャッチボール



■もんだい

今月号では50周年を迎えた大河原小学校のもととなった長者久保分教場の歴史をたどりました。

それでは問題です。この分教場は、当時人々からある名前で呼ばれていました。それは「〇っ〇〇棒学校」だったでしょうか。

応募規定

▶村に住んでいる人・勤めている人ならどなたでも応募できます。▶賞品=正解者の中から抽選で村商工会商品券500円分を差し上げます。▶締め切り=10月1日(木)。▶発表=「広報しょうわ」10月号。▶答えは必ずハガキに書き、下記要領で応募してください。

ことえ 住所(行政区も) 氏名・年齢 TEL 投稿欄…広報でとりあげてほしいことや気がついたことなど書いてください。	37911298 昭和村大字系井三八八 昭和村役場 企画課 広報統計係 広報統計係
--	--

▷8月号のクイズの答えは、「レタス」でした。応募総数は1通。当選者は次のとおりです(敬称略)。おめでとございます。

★保坂 明美 (54歳) 森下下

■開設時間 午後1時30分～午後3時30分
 ■場所 役場会議室
 ■行政相談員 後藤金松さん(大河原)
 ～食は命の源～
 シニア料理教室を開催
 保健福祉課 内線26
 誰でも簡単に作れる男性のための料理教室を開催します。
 ■日時 9月30日(水) 午前9時30分～午後1時
 ■場所 保健センター調理室
 ■内容 秋の献立
 ■申込期限 9月28日(月)
 ■その他 エプロン持参
 ■問い合わせ 保健福祉課 康係

地域包括支援センターだより

認知症サポーター養成講座について

今月は村内のらくらく筋トレ会場で行っている認知症サポーター養成講座で出された意見をご紹介します。
 ○友達なので「お互いさまの気持ちで接している。」
 ○実際、介護する立場になると甘くない。
 ○自分の親戚が温泉で違う人の服を着てしまった時は顔から火がでるくらい恥ずかしかった。
 ○旅行の時、家族から面倒見てほしいと頼まれ一緒に行ったが、苦ではなかった。
 ○自分や家族だけで抱え込まず、周りの人にお願しようと思った。
 みなさん、認知症の方とどう接するか、真剣に考え意見を出してくれています。
 この機会に、認知症について学びませんか。参加は自由です。ぜひご参加を。
 ■日時・場所 9月24日(木) 午後2時～ 永井住民センター

◆◆ 広報 文芸 ◆◆

俳句

出入久保拓殖見守り泉澄む

小林 仁作

涌く泉砂おどらせる力水

横坂 庄三

一気にのむ泉のうまさに舌鼓

金井 桑子

山路冷ゆ泉に真昼の陽はあれど

須藤 澄子

わさび田の泉が咲かず白き花

新木 武治

似てる背の蝸のかぶる夏帽子

大河原 一寿

夏シャツを買いて一人の誕生日

坂田 保男

一口の水の力や元氣でる

藤井 三代子

短歌

終戦日只暑かりき瘦畑に食へぬかも知れぬ蕎麦を蒔きし日

金井 松枝

六十余日も入院したれば吾れの缺取られて仕舞ひぬ山芋の蔓に

新木 武治

半日も日の目拝めば稔ると言ふに穂孕む稲に日のさすはいつ

新木 たき

牛の餌の朝草刈りて出勤し帰れば畑への遠き日の実父

阿部 トシ子

紫陽花の隅田の花火の藍増せり露ふくむ夕べ一入目を引く

金井 桑子

久に見る積乱雲と空の碧台風過ぎし暑き日の午後

諸田 義幸

はづむ声に同窓会は出席か問ひくる友の電話の長し

堤 あさ江

もろこしの葉音かすかにさせながら涼しき風の窓より入り来る

高橋 洋子

川沿に宵待草は咲き競い野道静かにたそがれせる

中村 敏子





広く村民の皆さんに呼びかけたいことがありましたら、このページをご利用ください。

お知らせ

司法書士による

無料相談を実施

◆群馬司法書士会

▼日時 10月4日(日)午前10時〜午後3時

▼場所 沼田グリーンヘル1階(特設会場)

▼内容 登記・法律・相続・債務整理・成年後見等の相談

▼相談員 群馬司法書士会沼田支部会員

▼問い合わせ 群馬司法書士沼田支部(支部長 戸丸和夫) ☎0278-12019070

心の病と栄養の

講演会を開催

◆NPO法人 あおぞら会

「心の病と栄養」と題した

講演会を実施します。

▼日時 9月27日(日) 午後1時30分

▼場所 沼田市保健センター4階「大ホール」

▼講師 岩手大学名誉教授 大沢 博 先生

▼問い合わせ 前橋検察審査会事務局 ☎027-12314275

秋の交通安全運動を

実施

◆県・市町村交通対策協議会

9月21日(月)から9月30日(水)まで、秋の全国交通安全運動が実施されます。この運動は、交通ルールを守り正しい交通マナーを実践し、交通事故防止の徹底を図ることが目的です。

なお、期間中の9月25日(金)は高齢者交通安全日、9月30日(水)は交通事故死ゼロを目指す日です。

みなさん、安全運転を心がけましょう。

地価評価などの

無料相談会を実施

◆県土地・水対策室

10月は「土地月間」です。これにちなみ「地価評価等無料相談会」を開催します。

▼日時 10月2日(金) 午

前10時〜午後3時

▼会場 ①前橋会場 前橋市役所(前橋市大手町)、②渋川会場 渋川市役所第二庁舎(渋川市石原)ほか

▼問い合わせ 県土地・水対策室 ☎027-122612366、または(社)群馬県不動産鑑定士協会 ☎027-124313077

募集

平成22年4月採用の

消防士を募集

◆利根沼田広域市町村圏振興整備組合

▼職種 消防士

▼採用予定人数 若干名

▼応募資格 ①昭和59年4月2日から平成4年4月1日の間に生まれた人、②高等学校卒業程度の学力を有する人、③身長160cm以上で体重50kg以上、胸囲が身長のおおむね2分の1以上の人、④矯正視力を含む視力が両眼で0.7、一眼で0.3以上の色覚が正常な人

⑤聴力が左右とも正常な人

▼試験日 一次試験：10月18日(日) 午前9時30分

▼場所 利根沼田広域消防本部

▼試験内容 一次試験：適性検査・一般常識・作文

▼募集期限 9月18日(金)



おまわりさんからのお知らせ



◎ 各種相談窓口のご案内 ◎

～相談は安心ダイヤル#9110～

9月11日は「警察相談の日」です。

群馬県警察では、県民に親しまれ、信頼される警察を目指して「全職員が相談員」として相談を受け付けています。

ひとりで悩まず、警察安全相談室又は、最寄りの警察署・交番・駐在所に相談してください。

※警察安全相談室(警察本部内に設置)

●短縮ダイヤル「#9110」(プッシュホン回線から) 又は027-224-8080

※その他の専門的な相談窓口

「犯罪被害者相談」	027-221-7777
「性犯罪に関する相談」	027-224-4356
「少年問題に関する相談」	027-254-3741
「暴力団に関する相談」	027-254-1100
「けん銃110番」	0120-10-3774
「環境犯罪110番」	027-243-3824

事件・事故などの緊急の場合は110番へお願いします。

特設人権相談所

家庭内や隣近所のもめごとなどでお悩みの人は、ご相談ください。村人権擁護委員が相談に応じます。
◆日時：10月7日（水）、午後1時30分～4時、**◆会場**：役場会議室

健康相談

高血圧や糖尿病などでお悩みの人は、ご相談ください。役場保健師が相談を受けます。
◆日時：9月28日（月）、午後1時～4時、**◆場所**：村保健センター ☎24-5111

こころの相談

「眠れない」、「イライラして落ち着かない」など、心に悩みを持つ人はご相談ください。専門家が相談に応じます。
◆日時：10月2日（金）、午後1時30分～（事前に電話予約を）、**◆会場**：沼田保健福祉事務所 ☎23-2185

女性相談センター

パートナーからの暴力やさまざまな悩みを持っている女性の相談や支援を行います。
◆日時：平日午前9時～午後8時、土日祝日午後1時～5時、**◆相談専用電話** ☎027-231-4488

今月の納期

国民健康保険税4期、下水道使用料3期、保育料9月分、学校給食費9月分は、9月30日（水）が納期です。完納にご協力ください。

わが村の人口

人口 7,771人 (-7)
 男 3,842人 (-2)
 女 3,929人 (-5)
 世帯数 2,300世帯 (+1)
 ※ ()内は前月比
 9月1日現在 (住民基本台帳人口)
 村の面積 64.17 平方キロメートル

▼問い合わせ 利根沼田広域
 消防本部総務課 ☎0278
 122-31333

防衛大学校などの
 入学生を募集
 ◆自衛隊沼田地域事務所

看護学生 ▼試験日：10月24
 日(土)、▽会場：新町駐屯地

防衛大学校学生 ▼試験日：11
 月7日(土)～8日(日)、

▽会場：第一生命ビル

防衛医科大学学生 ▼試験
 日：10月31日(土)～11月1
 日(日)、▽会場：第一生命

ビル

▼資格 高卒(見込み)で、看
 護学生は24歳未満、その他は

21歳未満の人

▼応募期限 10月2日(金)

▼問い合わせ 自衛隊沼田地
 域事務所 ☎0278-123

14111



ご存知ですか国民年金の
 免除・納付猶予制度

国民年金には、一定の基準により保険料納付の免除または猶予の制度があります。

期間中に事故で障害が残ったときや、一家の支え手が亡くなったときには、障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられます。(一部免除は、残りの保険料を納めないと、受けられない場合があります)

▼申請免除制度 本人・配偶者・世帯主の前年の所得が一定の基準以下の場合、承認されると保険料の全額または一部が免除されます。

※ただし、一部免除の場合、

残りの保険料を納めないと未納と同じ扱いになります。

承認期間は、7月から翌年6月までの1年間です。

▼若年者納付猶予制度 30歳未満で、本人および配偶者の所得が一定の基準以下の場合、承認されると保険料の納付が猶予されます。

承認期間は、7月から翌年6月までの1年間です。

▼学生納付特例制度 本人の所得が一定の基準以下の場合、承認を受けると学生期間中の保険料納付が猶予されます。

承認期間は、4月から翌年3月までの1年間です。

各制度は、原則として申請が毎年必要です。

詳しくは、渋川社会保険事務所 ☎0279-22-116

07まで。



うぶごえ

□お誕生おめでとうございます。

三ツ谷 阿部 光姫ちゃん

憲一 さんの子7月24日生

入沢 星野 権音ちゃん

美徹 さんの子8月18日生

伏田 竹之内友三郎さん
 86歳 8月12日没

滝久保 林 チンダさん
 46歳 8月19日没

森下上 金井 勉さん
 82歳 8月21日没

中内出 加藤美枝子さん
 68歳 8月23日没

上内出 加藤富美江さん
 81歳 8月26日没

永井下 藤井 清さん
 79歳 8月30日没



※掲載を希望されない方は、届出の際に申し出てくだ